

補助事業番号 21 - 33
補助事業名 平成 21 年度 I T 活用による情報システムの研究開発等補助事業
補助事業者名 財団法人 車両情報センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

I T 企業の技術力の向上、技術の発展や普及拡大が見込まれる異機種システム融合化を実現する新システムの開発を行う。また、I T 活用による情報提供の充実や効率的な監視等安全・安心確保のためのシステム開発を行うことで、I T 社会への対応、業活動効率化の推進を図り、もって機械工業振興に寄与することを目的とした。

(2) 実施内容

① 異機種システム融合化を実現するための新システムの開発

システムの一層の効率化、高機能化を図るため、異機種システムの融合化を実現する新たなシステムの開発を行った。平成 21 年 10 月センタシステムを稼働し、同年 11 月から各拠点において、順次新システムへ移行した。(平成 21 年度は計 10 拠点移行)

② IT 活用による情報提供充実のためのシステム開発

IT 活用によるインターネット(携帯電話、パソコン)を通じての情報提供の充実、操作性の向上を図るため、ソフトバンク携帯向けに投票用アプリを開発し、平成 22 年 3 月末に提供を開始した。また、インターネットホームページにおいても一部機能を向上するための開発を行った。

③ IT 活用による効率的な監視等安全・安心確保のためのシステム開発

異機種システムの融合化による監視対象範囲の拡大、高度化に対応した監視システムの開発を行った。また、前年度にインターネットホームページを対象として実施したアプリケーション診断及びネットワーク診断の結果を踏まえ、セキュリティ診断対応開発を実施し、セキュリティに関する安全性の向上(不正アクセスの排除、個人情報保護等)、その他ネットワークシステムの信頼性向上に資するための開発を行った。

④ 情報システムの変更に対応するためのシステム開発

情報システム利用者数の増加を目的とした、情報システムに関する変更等に柔軟に対応するための新たなシステム開発等を行った。

2. 予想される事業実施効果

- ① 異機種システム融合化を実現するための新システムの開発により、移行場の運用経費の削減、システムの一層の効率化・高機能化が見込まれる。
- ② IT活用による情報提供充実のためのシステム開発により、利用者への利便性の向上、利用者数の増加が見込まれる。
- ③ 総合監視システムの監視対象に異機種システムを含める開発を行ったことにより、IT活用による効率的な監視等安全・安心の向上が見込まれる。またインターネット（ホームページ）に関するセキュリティ診断結果を踏まえた対応開発を行ったことにより、一層のセキュリティ向上が見込まれる。
- ④ 情報システムの変更に対応するためのシステム開発により、速やかに制度改正に対応することができ、情報システム利用者数の増加が見込まれる。

3. 本事業により作成した印刷物・本事業により導入した設備 なし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 財団法人 車両情報センター（シャリョウジョウホウセンター）

住 所： 102-0085

東京都千代田区六番町4番地6 英全ビル

代 表 者： 理事長 阿部 毅一郎（アベ キイチロウ）

担 当 部 署： 総務部（ソウムブ）

担 当 者 名： 課長 山田 実（ヤマダ ミノル）

電 話 番 号： 03-3512-1301

f a x : 03-3512-1305

E-mail : <mailto:info@vicnet.jp>

U R L : <http://www.vicnet.jp/>